

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 映像学 科目

問1

以下の(1)～(3)のうち、2つを選んで、それぞれ10～15行の範囲内で、日本語または英語で解答してください。例に挙げる作品や理論はどここの国・地域のものでも構いません。

- (1) 映像メディアと社会的マイノリティの関係はどのように考えられるでしょうか。具体例を挙げながら自分の考えをわかりやすく説明してください。
- (2) 巨匠と呼ばれる映画監督と映画史の関係についてクリティカルな視点からどのようなことが言えるでしょうか。具体例を挙げながら自分の考えをわかりやすく説明してください。
- (3) 映像と物語(narrative)の関係について、理論を一つ以上取り上げながら自分の考えをわかりやすく説明してください。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 映像学 科目

問2

次の英文は、Felicia Chan, *Cosmopolitan Cinema: Cross-Cultural Encounters in East Asian Film* (London: I.B. Tauris, 2017), pp. 7-9からの抜粋です。これを読んで続く問いに日本語または英語で教えてください。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 映像学 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 映像学 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

- (1) 下線部①について、筆者の考えを抜粋部における議論の文脈を踏まえて、わかりやすく説明してください。
- (2) 下線部②の Dimitris Eleftheriotis の主張を筆者はどのように評価しているでしょうか。文脈を踏まえて、わかりやすく説明してください。
- (3) 下線部③の制度上の権力について、筆者はどのようなものを想定しているでしょうか。映画ビジネスに関する具体例を一つ以上示しながらわかりやすく説明してください。

【解答にあたっての注意】

- ◆ 専門試験は、次の2つからなる。そのすべてを解答すること。
 - (1) 日本文化学に関する文献解読
 - (2) 日本文化学に関する論述問題

- ◆ 解答は「文献解読」「論述問題」に分け、それぞれの答案用紙を用いること。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の裏に記述してもよい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目 文献解読 科目

次の文章は、瀬崎圭二『流行と虚栄の生成——消費文化を映す日本近代文学』（2008 年）の一部である。

次の [1] [2] について答えなさい。

[1] この文章の趣意を 5 行程度で要約しなさい。

[2] 以下からキーワードを一つ以上選択し、この文章を批評しなさい。首尾一貫した論述を行うこと。

システム 身体 流行 メディア 表象

そもそも一般的な意味での消費社会とは、一九五〇年代後半からの高度経済成長期による中間層の大幅な拡大が支えた高度消費社会や大衆消費社会と別称される社会形態を指し、厳密に言えば、これまで述べてきたような消費社会的な状況を大正期に見出す認識そのものも極めて疑わしいものであるとも言えよう。しかし、第二次大戦後に言われる消費社会も、それがシステムである限りにおいて、その時期に突如立ち現れる類のものではなく、われわれの現在の生活を覆っている消費社会という経済システムがそれとして自律的に維持されているのは、それを支える基本要素が継続的に再生産されてきたからである。つまり、消費社会的状況とは、資本主義の構造と不可分な形で現象する近代そのもののあり様であると言え、それ故にこそ、前述したような経済的背景の中で消費社会的状況を現象させていった大正という時代を考えるべきなのである。よって、大正という状況の中でうごめき始めた消費社会における様々な問題は、高度消費社会や大衆消費社会と呼ばれる現在の問題系でもあり得る。

そのようなシステムにおける消費とは、ただ単に財やサービスを消費していく行為を表すのではなく、ある一定の共同体に想像的に共有される流行の速度を媒介としながら、その事物に対する必要性をあまり問題としないところに現象する商品の購入のあり方を指している。よって消費社会とは、こうした消費を可能にするような社会システムのことを指す。周知の通り消費社会についての考察は、J・ボードリヤールの一連の仕事を始めとして枚挙に暇がないが、ボードリヤール等を理論的背景として一九八〇年代から九〇年代初頭のバブル期に流行した消費社会論とはいささか違う意味で、消費の問題はわれわれの現在の生活に深く根を張っているようだ。

例えば、産業革命以来の固体的な近代との繋がりの中に、現代を流体的な段階として捉えたZ・パウマンは、消費社会の構成員であるわれわれの行為は、すべて「一種の買物、あるいは、買物に似たかたちの行動」であるという。消費社会においては、われわれが競争力を発揮しなければならぬ状況は多く、単に商品そのものを買うだけではなく、「生活の糧をえるための手段、就職のための技能、自分をよくみせるためのイメージづくり、イメージどおりにだどひと思わせる技術、新しい友人のつくり方に、いらなくなつた旧い友人の捨て方、注目をひく方策に注目から逃れる方便、愛から最大の満足をはき出す手法、愛するひとに「依存しない」方法、好きな人間から愛を獲得する方法、稼ぐまえにお金をつかえる便利なやり方、仕事を早くすませる能力に、あいた時間を有効につかえる能力、おいしいものの食べ方と、太らないためのダイエット法」などを、まさに「商品を見てまわる」ように物色するのだという。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目 文献解説 科目

四六時中「買い物」をし、また、生活そのものがわれわれの「買い物」の対象となること。バウマンが捉えたこうした身体の様相は、消費社会と呼ばれる経済システムが、われわれの身体へと浸透し、われわれの行動、思考様式を規定する事態を如実に表している。そのようなシステムに置かれた身体は、あらゆる事物、財、サービスの消費者としてしか主体化され得ないことも容易に想像がつく。とりわけ、市場原理がわれわれの生活の内部へと浸透し始めている昨今、ある事物やサービスを買えるか、買えないかということをめぐる選別は、それを基準とした階層差を生み出していく契機ともなっているだろう。してみれば、大正という社会状況へと適及されるこのシステムが孕む問題には根深いものがあると言わざるを得ない。

さて、以上のように消費、もしくは消費社会を捉えたとき、既にここに二つの問題が浮上している。まず、ある共同体の内部に浸透していく流行、言い換えれば、その流行によって想像されていく共同体において、流行もしくはそれを共有する共同体を想像させるようなメディアの問題である。そしてもう一つは、その場での表象の問題だ。社会システムとは、継続的にコミュニケーションをコミュニケーションに結びつけ、それによって自分自身の閉鎖性の維持と、諸要素の再生産を維持していくものだ。前に述べたが、コミュニケーションとは、意図やメッセージを交換することではなく、何らかの形でその行為自体が接続されていく過程のことを指す。すなわちここでは、われわれの主體的な思考内容が交換されているのではなく、コミュニケーションという行為の再生産の中で表象が交換され合っているに過ぎないということになるし、メディアとはその行為の接続を促すものであると言えよう。消費社会というシステムをシステムたらしめるコミュニケーションの継続と、コミュニケーションという行為を促すメディア、その中で交換される表象の問題。あまり知られていないことだが、ここには「文学」が深く関与していたのである。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目 論述問題 科目

[1] 様々な災害が発生した後は、それを描いた文学やその他の芸術作品が生まれている。災害と文学・文化の関わりについて考察する場合、どのような視点や方法が重要となるか。具体的な事例・作品を挙げて、10 行程度で具体的に論述しなさい。

[2] 次に掲げた事項についてそれぞれ知るところを述べなさい。解答する事項の記号を各々必ず記すこと。

- a. 田村俊子
- b. 松本清張
- c. 芥川龍之介賞
- d. アダプテーション

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化動態学

試験科目 科目

次の4問の中から、自分の研究計画に関連の深い2問を選んで解答しなさい。解答は下記の「解答上の注意」に基づいて書きなさい。

解答上の注意

- ① 解答は1問につき答案用紙1枚以内で書きなさい。
- ② 答案用紙には受験番号および選択した問題番号を書きなさい。
- ③ 同一の答案用紙に複数の問題の解答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってはいけません。

問題1 近年、日本を含め多くの国では孤独死が増えている。個人と社会の関係の観点から、事例を挙げて高齢期の諸問題について論じなさい。

問題2 ある特定の社会における家族の形態の変容を説明するのに、「ロマンティック・ラブ・イデオロギー」という概念はどのように活用できるか。「ロマンティック・ラブ・イデオロギー」の定義と成り立ちを説明したうえで、それをを用いて、特定の社会における家族の形態の変化について論じなさい。

問題3 「おいしい、きれい、ただしい (Good, Clean, Fair) 食べ物をすべての人が享受できるように」をスローガンに、スローフードという世界的な草の根運動は1989年に発足した。グローバル化の観点から、具体例を挙げながら、スローフード運動の可能性と限界について説明しなさい。

問題4 歴史家の網野善彦は、「日本」をめぐって、次のように述べている。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(出典：網野善彦『「日本」とは何か』講談社 2000：87)

この文章を、背景にあると考えられる網野の問題意識と共に自分なりの言葉で説明し、その妥当性について、あなたの考えを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 ジェンダー学

試験科目 科目

下記の問 1～3のうち、2問を選択して、答案用紙に解答しなさい。なお解答は下記の【解答上の注意】にもとづいて書きなさい。

【解答上の注意】

- ① 解答は序論・本論・結論の構成で書き、序論には全体の主旨を伝える文章 (Thesis Statement) を含むこと。
- ② 解答は、1問につき答案用紙 1 枚を使用すること。
- ③ 答案用紙には受験番号、選択した設問番号を書くこと。
- ④ スペースが足りない場合は、裏面を使用しても構わない。

問 1 2023 年に日本で成立した「性的指向及びジェンダー アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律 (略称: LGBT 理解増進法)」について、この法案が成立した経緯及び法案の内容を説明し、この法案に対するあなたの評価を理由とともに論じなさい。

問 2 以下の文章の内容について解説しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典: ルーシー・デラップ. 2023. 『フェミニズムズーグローバル・ヒストリー』. 幾島幸子訳, 明石書店, p.21. (Delap, L. 2020. *FEMINISMS: A Global History*. Penguin.)

問 3 多くのフェミニストにとってフロイトは批判の対象となっている。二人以上のフェミニストの議論を例にあげ、フロイトの精神分析がフェミニズムにより批判される理由を論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 メディア文化社会論

試験科目 メディア文化社会論

メディア文化社会論の専門試験は、次の2つの形式からなる。

- (1) 論述問題 問1
- (2) 長文読解 問2、問3-1、問3-2

解答上の注意

- ◆解答用紙に受験番号、選択した問題番号を書きなさい。
- ◆解答用紙のスペースが足りない場合は、裏面を使用しても構いません。

(1) 論述問題

問1 次に挙げたA)からJ)の中から2項目を選び、メディアと文化と社会の研究における重要性を含め、自分が知っている内容を述べなさい。選んだ項目の記号を明記した上で、日本語または英語でそれぞれ5行程度にまとめること。

- A) chatbot チャットボット
- B) cultural hybridity 文化的ハイブリッド性
- C) collective intelligence 集合知
- D) ethnography エスノグラフィー
- E) gendered division of labor 性別役割分業
- F) gift economy 贈与経済
- G) intersectionality 交差性
- H) knowledge economy 知識経済
- I) media materiality メディアの物質性
- J) post-truth ポスト真実

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 メディア文化社会論

試験科目 メディア文化社会論

2) 長文読解

次の文章は Tim O'Sullivan 他著の *Studying the Media* (第 3 版、2003 年、Arnold)、12 頁からの抜粋です。これを読んで、問 2 に日本語または英語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問 2 この文章は 20 年以上前に書かれましたが、その頃からメディア技術では、デジタルメディアとソーシャルメディアにおいて多くの発展がありました。このような新しい形態のメディアから一つの具体例をとって、この文章の中心的な主張にどのように関連するかを論じなさい。(12 行程度)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 メディア文化社会論

試験科目 メディア文化社会論

次の文章は、広井良典「サイエンスとケアが融合したら何が起きるのか」『スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー 日本版 03』（2022 年、SSIR Japan）、92 頁からの抜粋です。これを読んで、問 3-1 と問 3-2 に日本語または英語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問 3-1 下線部 (a) の分野から一つだけ選び、生命関連産業としてのその分野の重要性について、具体例を用いて述べなさい。(12 行程度)

問 3-2 下線部 (b) の問いについて、あなたの考えを述べなさい。(12 行程度)